

資料

【製品化ニーズ分析】

1. 医療機器実用化モデル

医療機器の実用化モデルの類型として下記の4つのモデルを考えることができ、以下に概要を述べる。

臨床現場型モデル：

本研究の類型であり、医療現場の明確なニーズがあり、その実用化・製品化を、企業等の工学的技術により具体化する形態である。

研究発展型モデル：

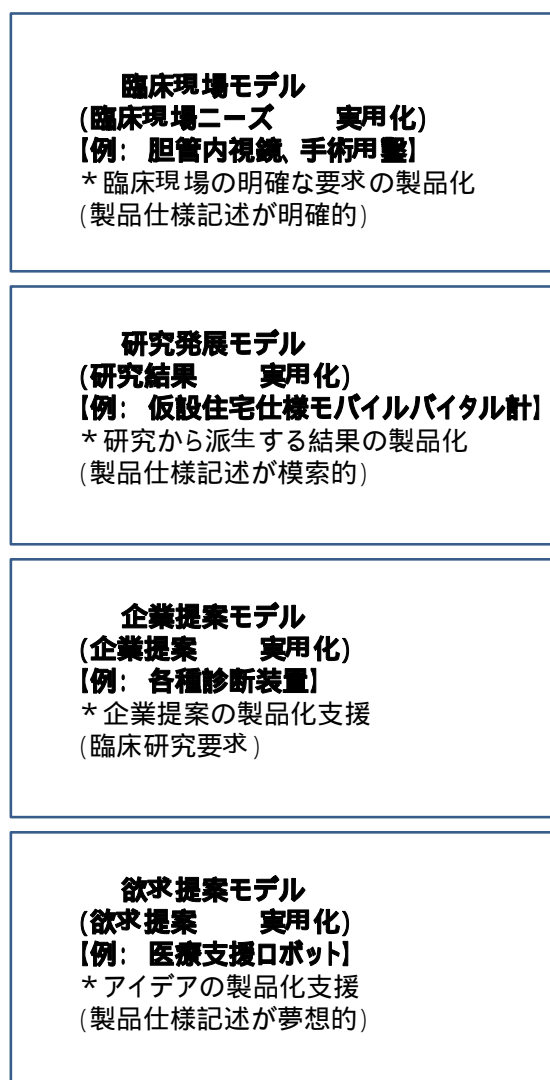
大学等を中心とする研究機関の研究成果、あるいは成果から派生する技術の実用化の形態であり、俗にいうシーズの事業化の流れは、この形態に分類される。

企業提案型モデル：

企業からの提案によるアイデア・プロトタイプの実用化協力、あるいは開発製品の治験等の企業協力の形態である。

欲求提案型モデル：

医療現場のニーズまで昇華されていないが、アイデアとしては概念的にまとまっている欲求提案型の形態である。



(図 1: 医療機器実用化モデルの 4 類型)

3. 調査書式：

医療現場の要求調査・分析にもとづき抽出されたニーズ(NEEDS)に対し、実現に要求される技術、あるいは将来技術(SEEDS)を、既存の特許・製品の類似技術を含めて製品企画・開発支援をできる人材を育成する人材育成プログラムの WEB 化におけるデータは、ニーズ・シーズの分析データが基本である。

Seeds
//

先生の名前(学部名称) _____

【研究概要】
研究の概要を記述

(特徴)
研究の特徴を簡潔に記述

【シーズ分解】	【研究事項・フロー】	【ゴール】
<p>【シーズ①: シーズの分類】 1) シーズの内容</p> <p>【シーズ②: シーズの分類】 1) シーズの内容</p> <p>【シーズ③: シーズの分類】 1) シーズの内容</p>	<p>【基本原理】 <i>研究の基本原理あるいは考え方</i></p> <p>【研究事項】 <i>研究の構成: シーズに対応させてもよい</i></p> <p>【出口戦略】 <i>研究の出口をどうするかの方針</i></p>	<p>【研究ゴール】 <i>研究の最終目的: 目標とする実現成果</i></p> <p>【派生ゴール: Needs】 ① needsとして発展させられうるアイデア、あるいは事項</p>

↓ **【研究図解】** ↓

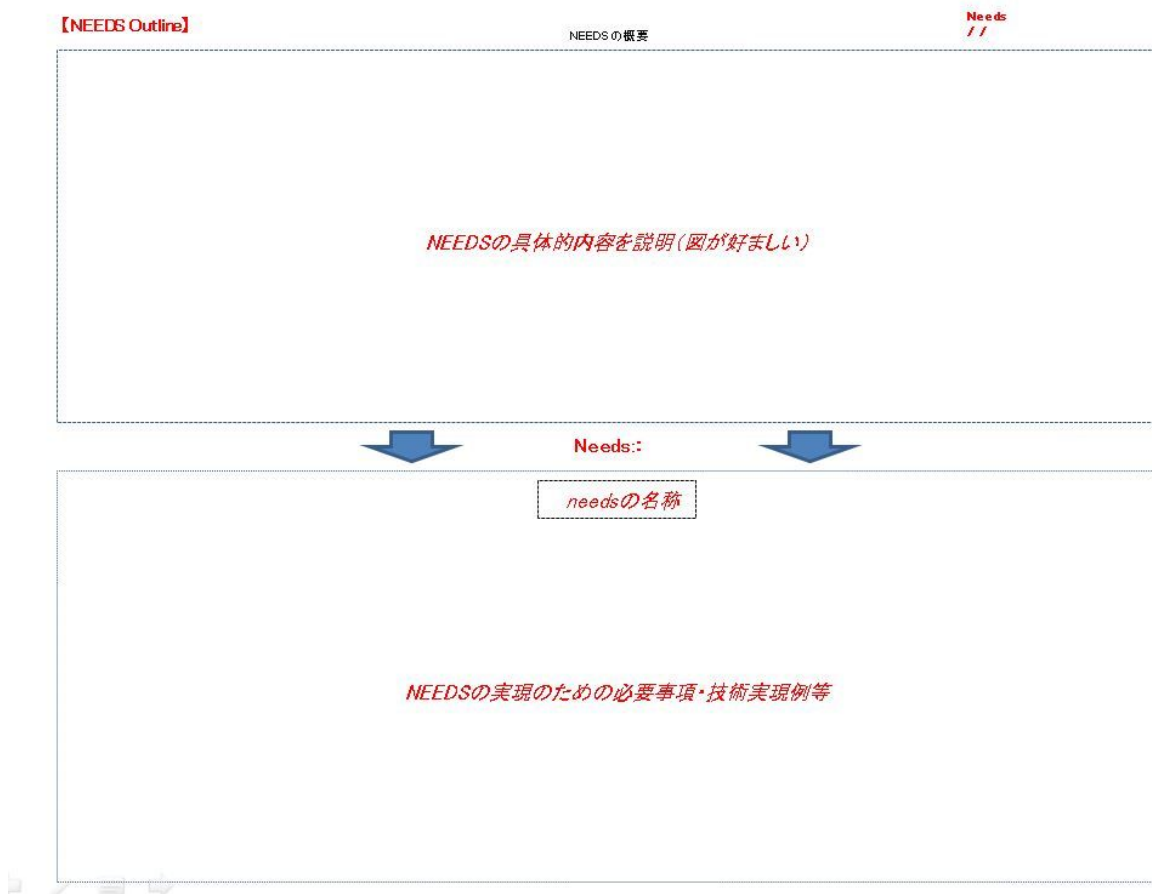
(特徴)
・特徴の記述

研究の全体像の図解

(図1: ニーズ・シーズデータ構成)

左図は、ニーズ・シーズの分析データのデータ基本構造を図示したものである。この基本構造を、WEB インターフェイスを介して WEB 画面として表示すると左図の構成画面として参照・表示される。

このシーズ・ニーズ分析データの補足データとして下図(図2)のニーズデータがある。



(図2： ニーズ補足データ構成)

上記補足データを、シーズ・ニーズデータと組み合わせることで WEB 化におけるニーズ・シーズ分析データの基本データ構造を構築する。